



## ふるさと教育について 3年生がふるさと学芸館を訪問

学習指導要領では、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、「生きる力」を育むことをめざして、知識及び技能の習得に加えて、思考力、判断力、表現力の育成や、学びに向かう力、人間性等を涵養（かんよう）することを重視しています。

その中で、ふるさと教育は地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業といった教育資源（ひと、もの、こと）を活かし、ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましい子どもを育むことを目的として行われるものです。小学校においては、特に3・4年生の社会科等の授業で、自分たちの住んでいる地域社会の特色を理解するとともに、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域社会に対する誇りと愛情を育てようとしています。

観音寺市では、「観音寺のすがた」という独自の教材が作成されており、授業で活用されています。また、旧紀伊小学校の跡地に「ふるさと学芸館」が設置され、昔の人々が使っていた道具や生活雑貨等を展示するとともに、各種の体験活動ができるようになっています。

このたび、1月19日（火）に3年3組、21日（木）に3年1組、22日（金）に3年2組が、ふるさと学芸館を訪れ、説明を聞いたり体験したりしながら、ふるさと観音寺の歴史や文化を学びました。



## 1月のエールプロジェクト

1月のエールプロジェクトは交通委員会と給食委員会の取組です。

### ○廊下をきちんと歩こう（交通委員会）

校舎内の移動で、走って転んだり、曲がり角でだれかと衝突したりすることを防止するために、交通委員会では、正しく歩いていることを認めるカード（ピンク）、正しく歩けていないときに注意をうながすカード（水色）を渡すことにしました。

児童の皆さんは、交通委員の人からピンクのカードをもらえるように、時間にゆとりをもって行動しましょう。青のカードをもらわないように気をつけてください。



### ○給食を静かに食べよう（給食委員会）

新型コロナウイルスへの感染を防ぐため、給食の配膳から食べ終わるまでの間、静かにすることを目標にしました。本来、給食の時間は皆で楽しく食べるものではありませんが、児童の皆さんは、今はがまんして給食委員会に協力しましょう。

## なわ跳びにがんばっています

寒い冬にぴったりの運動遊びがなわ跳びで、昔から小学校でさかんに行われています。柞田小学校では、火曜日の柞小タイムで、学年色別に力を合わせて大なわ跳びに取り組み、回数を競い合っています。

また、休み時間中は中庭に設置されているなわ跳び台周辺に子どもたちが集まり、なわ跳びカードにある技に夢中になって取り組んでいます。

なわ跳びを通して体力をつけ、寒さに負けない、病気に負けないたくましさを身に付けてほしいと思います。

